

防災通信訓練及び排水作業訓練の実施について

○国土交通省中部地方整備局（防災室、木曽川上流河川事務所 外 5 事務所）は、大垣市と連携し、災害発生時の応急対策が迅速かつ円滑に実施されるよう、国土交通省が保有する通信資機材を活用した防災通信訓練（通信確保、情報伝達、被災映像の共有等）及び木曽川上流河川事務所が作成した排水作業準備計画の実効性を確認するための排水作業訓練を実施した。

- 日 時：令和5年12月22日(金) 13:15~15:30
- 訓練内容：防災通信訓練及び排水作業訓練
- 参加機関：
 - ・国土交通省 中部地方整備局
 - 防災室、木曽川上流河川事務所、多治見砂防国道事務所、越美山系砂防事務所、新丸山ダム工事事務所、高山国道事務所、木曽川水系ダム統合管理事務所
 - ・大垣市

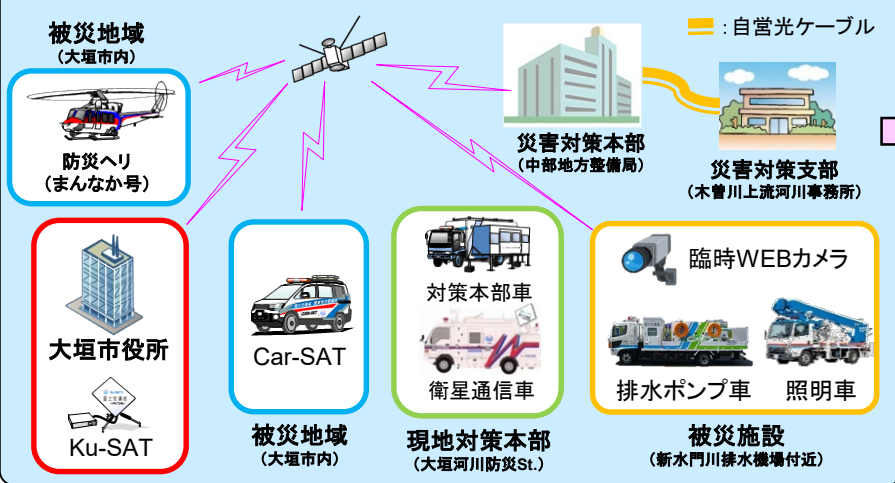
- 訓練想定：
 - ・大雨による河川の出水時に新水門川排水機場の排水ポンプ3台が故障し、水門川上流部で内水氾濫が発生したことを想定し訓練を実施。

- 訓練内容：

< 防災通信訓練 >

以下の映像を揖斐川大垣河川防災ステーション(現地対策本部)、木曽川上流河川事務所(災害対策支部)、大垣市役所等で受信。

- ・新水門川排水機場における排水ポンプ車等の設置状況。
- ・水門川上流部における内水氾濫の状況(防災ヘリ、Car-SAT)。



< 排水作業訓練 >

排水作業準備計画で整理している排水ポンプ車のアクセスルートや配置場所等について、その実効性を確認するため、以下の訓練を実施。

- ・名神高速道路と揖斐川左岸堤防の緊急開口部(揖斐川左岸34.7kp付近)を活用して、名神高速から揖斐川の堤防天端道路に直接アクセスした場合を想定し、当該緊急開口部から新水門川排水機場までのアクセスルートを実走。
- ・新水門川排水機場付近の堤防道路の交通規制を行い、排水ポンプ車・照明車を設置。



防災通信訓練における目標の設定及び達成状況

○防災通信訓練については、右表の7つの目標を設定し、訓練を行った。

No.	防災通信訓練における具体的な目標	達成状況
①	現地災害対策本部の設営及び被災箇所、事務所、本局、自治体等との情報通信環境の構築	○
②	Car-SATの設営および機器操作習熟	○
③	ヘリサットからの映像受信	○
④	自治体との通信確保を想定したKu-SAT等による訓練	○
⑤	通信機器の操作に不慣れな職員によるK-λ等VHF無線機の操作設営訓練	○
⑥	Teams等の外部接続可能なテレビ会議システムにより、ヘリ映像等を広範囲に共有する訓練	○
⑦	本省への被災状況報告等を想定した訓練	○

現地対策本部（揖斐川大垣河川防災St.）



現地災害対策本部の設営(目標①)



情報通信環境の構築(目標①)

K-λ等VHF無線機の操作設営訓練(目標⑤)



リエゾン(大垣市役所)



Ku-SATによる通信訓練(目標④)

Car-SAT



Car-SATの設営および機器操作習熟(目標②)

被災箇所（新水門川排水機場付近）



新水門川排水機場付近における排水ポンプ車の設営

防災ヘリ(まんなか号)



ヘリサットからの映像受信(目標③)

防災通信訓練における目標の設定及び達成状況



事務所、本局、自治体等との情報通信環境の構築状況(目標①)

ヘリサットからの映像受信・共有状況(目標③、目標⑥)



被災箇所(新水門川排水機場)からの臨時WEBカメラによる映像受信状況(目標①)

被災箇所(大垣市内)からのCar-SATによる映像受信・共有状況(目標②、目標⑥)